

2021/02/05
新報国製鉄株式会社

2021年度 経営計画

逆境時代に打ち勝つ心

「意識改革」 「速度改革」 「自分改革」



新報国製鉄株式会社
SHINHOKOKU STEEL CORPORATION

【目次】



1. 【損益と財務状況】
 - 1-1. 損益
 - 1-2. 財務状況

2. 【2021年 販売見通し】

3. 【2021年 重点施策】
 - 3-1. 新製品の拡販
 - 3-2. 競争力強化
 - 3-3. 鑄造技術の向上
 - 3-4. 研究開発

4. 【人材育成】

1. 【 損益と財務状況 】



「損益」

(単位＝百万円)

	2020 実績			2021 計画		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,244	1,743	3,987	1,800	2,200	4,000
営業利益	150	73	223	80	170	250
経常利益	154	113	267	110	175	285
当期純利益	109	83	192	80	120	200
1株利益	33円	24円	57円	24円	36円	60円
配当	15円	15円	30円	15円	15円	30円

「財務状況」

(単位＝百万円)

区分	2020期首	2020期末	2021期末計画
総資産	6,817	6,518	6,560
自己資本比率	61%	65%	66%
現預金	2,630	3,051	3,100
借入金	1,635	1,575	1,515

2. 【2021販売見通し】



主力の半導体およびFPD(有機EL/液晶)関連は、中長期的にはデータセンタ、IoTや5GおよびAI関連で成長トレンドは変わらないものの、2021年は下期にようやく回復基調、本格的な回復は2022年以降。

また、シリコンウエハ研磨機向けの定盤は現時点では不透明。シームレスパイプ用工具はほぼ前年並み。

バイオマスボイラー用炉底エアノズルの拡販に注力。

3. 【2021重点施策】



売上・損益とも大変厳しい状況であるが、この時期こそ原点に立ち帰り、徹底した技術向上、新製品の拡販、人材育成に注力し、次の飛躍へ向け基盤をつくる。

3-1. 新製品の拡販

(1) 耐熱耐摩耗合金 および 耐腐食 新合金

焼却炉＝耐塩素 新合金「EGNIS」

高温下での塩素ガス環境で、優れた耐腐食性を示す開発材「EGNIS」材を提案し、焼却炉部材の延命化による設備維持費の削減に貢献

バイオマスボイラ＝エアノズル

- ・製紙/売電メーカー30拠点への訪問
- ・ダイレクトメールをボイラー保全担当者へ送付
- ・ホームページに「G」・「EGNIS」材のページを増設

(2) 低熱膨張合金

CFRP金型

国内外の航空部品メーカーを視野に、次世代技術の熱可塑性CFRP成形用金型材の開発合金を提案

高温インバー

世の中にない高温域で低熱膨張特性の合金開発に成功。
ニーズを獲得する

天文／宇宙

JAXAや国立天文台で進行中の案件
(地上超大型望遠鏡)(次世代重力波)
(天文観測衛星)(衛星探査機)

3. 【2021年重点施策】



3-2. 競争力強化

(1) 多能工化

生産効率を更に向上し、人件費削減および外部委託品吸収を図る

(2) 溶解技術の改善

- ①原料費の削減、歩留向上
- ②溶解時間の短縮
- ③品質向上 ⇒ 納期短縮

3. 【2021年重点施策】



3-3. 鑄造技術の向上

- (1) 若手技能者の教育によるレベルアップ
- (2) シミュレーション技術の向上と現場への応用
→ 品質向上、不良の削減によるコスト削減、納期短縮

3-4. 研究開発

- (1) 次世代インバーの開発
 - ① 高温領域用(650~900°C)インバー
 - ② ゼロ膨張CFRP 成形用金型合金
 - ③ 非磁性インバー合金
- (2) 耐熱耐腐食鋼
- (3) 産学連携の強化、海外への論文発表

4.【人材育成】



社員教育制度の新設

(1)階層別教育の実施

(2)管理者教育の実施

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますのでご理解頂けますようお願い申し上げます。